



「団結は力 見せよう組合の底力!」をスローガンに、第68回中小企業団体全国大会が10月19日、石川県金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」において開催されました。

政府をはじめ関係各方面より多数の来賓を招き、全国から中小企業団体の代表者約2,500名が参集し、「実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化」及び「地域を支える中小企業の生産性の向上」について、14項目からなる大会決議を採択しました。



全国中央会会長・大村功作 氏



オープニングは金沢素囃子の演奏

大会は、アトラクションとして伝統芸能の金沢素囃子が披露された後、石川県中央会副会長・赤石巖氏の開会宣言で幕を開けた。全国中央会会長・大村功作氏、石川県中央会会長・山出保氏、石川県知事・谷本正憲氏、金沢副市長・細田大造氏が挨拶。来賓紹介の後、来賓を代表し、経済産業副大臣・松村祥史氏、農林水産副大臣・磯崎陽輔氏、厚生労働

大臣官房審議官・土屋喜久氏、商工中金代表取締役社長・安達健祐氏が祝辞を述べた。また、政党代表として、自由民主党組織運動本部長・山口泰明氏、公明党中小企業活性化対策本部長・赤羽一嘉氏が挨拶を行った。大会決議では、石川県中央会山出保会長を議長に、長野県中央会会長・春日英廣氏並びに富山県中央会会長・高田順一氏を副議長に選任し議事に移った。

始めに、昨年の決議の経過報告を行い、議案が一括上程され、全国中央会副会長・森洋氏の意見発表の後、満場一致で議案が採決された。続けて石川県中小企業青年中央会会長・下荒隆晴氏が決意新たに大会宣言を高らかに掲げた。休憩を挟み行った表彰式では、優良組合36組合、組合功労者73名、中央会優秀専従者19名が表彰された。本県からは、優良組合として群馬県高圧容器整備協同組合、組合功労者として群馬県酒造協同組合前理事長・柳澤光雄氏がその荣誉に浴された。

その後、次期開催が平成29年10月26日、長野県・松本市「キッセイ文化ホール」と発表され、大会旗が長野県中央会春日英廣会長に



組合功労者
柳澤光雄 氏
(群馬県酒造(協)前理事長)



優良組合
群馬県高圧容器整備(協)
(理事長 遠藤祐司 氏)



大会旗の継承

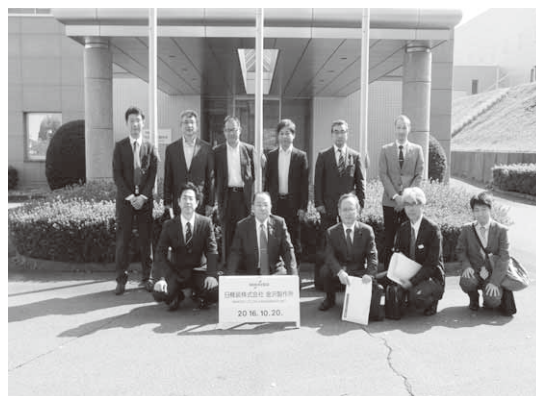
継承された。
最後に、中小企業基盤整備機構理事長・高田坦史氏が万歳三唱をし、石川県中央会副会長・米澤寛氏が閉会挨拶を述べて閉会した。



概要説明を受ける参加者

翌日10月20日、群馬県中央会コース参加者は、金沢市の日機装株式会社金沢製作所を視察した。同社は、1953年に、特殊ボンブ工業株式会社として創立し、1968年に日機装株式会社と現在の社名に変更した。高い技術力と専門知識を背景に事業を拡大し、人工透析装置や航空機の部品にまで事業分野を広げ、取引先よりそれぞれ高い評価を受けている。金沢製作所は国内における最大の拠点であり、メディカル工場A棟・B棟と航空宇宙工場から構成される。本視察では、事業所の概要説明を受けた後、メディカル工場のB棟、A棟の順で見て回った。

メディカルB棟では、透析器(ダイアライザー)の自動化された製造工程や衛生管理の取組、検査体制を見学。メディカルA棟では、透析装置の製造工程やメンテナンス体制、検査体制を見学した。工場棟を回った後、加賀象嵌(かがぞうがん)と日機装の先端技術を紹介している宗桂会館を見学した。



管理棟の前にて集合写真

来年の第69回中小企業団体全国大会

開催日：2017年10月26日(木)

場 所：長野県松本市「キッセイ文化ホール
(長野県松本文化会館)」

※群馬県中央会のコースにつきましては、
確定後ご案内いたします。ぜひ大会参加
をご予定ください。



宗桂会館内では新旧の技術に触れた

日機装の製品についても、新しい製品だけでなく技術の変遷や、当時の製品等が展示されていた。

群馬県中小企業団体青年協議会

創立40周年記念式典



群馬県中小企業団体青年協議会（境野泰照会長）は、11月15日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、創立40周年記念式典を開催した。

当日は、県、中央会、関係機関、青年協議会歴代会長等の来賓をはじめ、総勢134人が出席した。

まず、記念講演会では、赤城フーズ株式会社常務取締役・遠山昌子氏が「タカラジェンヌから老舗企業の6代目にくる逆境を乗り越えた夢を叶える方程式」をテーマに講演を行った。



遠山昌子氏

遠山氏は、「5年間に在籍した宝塚で培った『出来なければ出来るまで努力する』の精神のもと、一から経営学を学び、『夢を描くこと』『明確な道筋をつくること』が成功の方程式であると学んだ。さらに、実体験から『あきらめずに努力を続けること』を加えれば夢を叶える方程式となる」と述べた。

次いで、「宝塚受験、宝塚時代、卒業後もたくさんの人に支えられて、今の自分があるのだと思う。出会いを価値のあるものにするかどうかは自分次第である。本日のこの出会いを大切にしたい」と締めくくった。

続いて開催された記念式典では、はじめに主催者を代表して境野会長が挨拶を行った。

次いで、青年協議会の発展に寄与した功労者として、第20代会長・吉原秀忠氏、第21代会長・片山順氏に対し、中央会金子正元会長より感謝状と記念品が贈られた。

その後、来賓紹介が行われ、群馬県知事代理として、副知事・村手聡氏、中央会金子会長、商工組合中央金庫前橋支店長・松尾悟志氏が祝辞を述べた。



境野会長

式典終了後、記念祝賀会を開催。群馬県産業経済部長・塚越正弘氏、全国中小企業青年中央会副

会長・玉井優氏、関東甲信越静ブロッック中小企業青年中央会会長・田中大裕氏の来賓挨拶後、青年協議会第12代会長を務めた、中央会副会長・武井宏氏が乾杯の発声を行った。

歓談中には、アトラクションとして群馬県のご当地アイドルで、ぐんま観光大使の「あかぎ団」によるライブを開催するなど、大いに盛りあがる中で、青年協議会第14代会長・串田紀之氏の中締めに祝賀会を終えた。



武井中央会副会長による乾杯

◎創立40周年記念式典を終えて
式典開催にあたり、多くの方々にご協力いただき、誠に有難うございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。